

小笠原諸島における主な自然再生事業等（環境省関係）

○世界遺産の管理

番号	事業項目	事業内容	25年度	26年度
1	小笠原諸島世界自然遺産地域における自然再生事業拠点整備の検討	小笠原諸島世界自然遺産地域の管理のために必要な、新たな拠点整備を含めた、ハード・ソフト両面の総合的なシステムを構築するための設計を行う。	遺産センターの実施設計等	遺産センターの実施設計（6月末まで）・運用等の検討（継続）
2	小笠原諸島世界自然遺産地域順応的管理検討	管理計画を踏まえて、科学委員会や地域連絡会議の運営等により、自然生態系保全の方向性や特定重要課題への対応等について検討する。	継続	継続

○外来生物対策

番号	事業項目	事業内容	25年度	26年度
1	小笠原国立公園外来ほ乳類対策調査	ネズミ類、ヤギ等、外来ほ乳類（ノネコ以外）の対策のための調査、モニタリング、駆除計画の策定等を行う。	継続	東平のノヤギは、ほぼいなくなったので、モニタリングのみ。属島のネズミ対策については、引き続き検討。
2	小笠原国立公園ノネコ対策調査	小笠原諸島（父島、母島）の山域におけるノネコの排除を行う。	継続	継続（母島においては試験的な実施を行う。）
3	小笠原地域自然再生事業プラナリア拡散防止対策及び陸産貝類域外保全	陸産貝類の生存にとって脅威となる貝食性のプラナリアであるニューギニアヤリガタリクウズムシの対策として、プラナリアの侵入の防止、陸産貝類の域外保全等を行う。	プラナリア進入防止柵の設置（鳥山地域）	プラナリア進入防止柵の設置（鳥山地域）
4	小笠原地域自然再生事業両生は虫類対策	昆虫類の生存の脅威となるグリーンアノール、オオヒキガエルの対策として、母島では、自然再生区での両生は虫類の排除、父島では、属島への拡散防止のための港湾周辺での対策を行う。	継続	継続
5	兄島におけるグリーンアノールの対応	平成25年3月22日に発見された兄島のグリーンアノールへの緊急的な対応	兄島における、アノールのセンサス、保全対象種の調査、アノールの捕獲、捕獲柵の設置等	継続

○希少種の保全、保護増殖事業関係

番号	事業項目	事業内容	25年度	26年度
1	アカガシラカラスバト（保護増殖事業）	ハトの標識放鳥等による生息状況調査等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・生息状況調査 ・関係機関による取組の今後5年間の計画を策定 ・連絡会において、事故等の現地トラブルの対策を検討 	継続
2	オガサワラオオコウモリ（保護増殖事業）	関係機関との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会の開催による情報共有の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有された課題解決のための、保全対策を検討
3	希少植物（保護増殖事業）	諸島内の希少植物12種について、モニタリング、生育環境改善対策、人工増殖、域外保全等を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング ・人工増殖（人工授粉等） ・環境改善（外来種駆除等） ・域外保全（種の保全、増殖技術の確立） 	継続
4	希少昆虫（保護増殖事業）	オガサワラジミ、オガサワラハンミョウ、トンボ類の生息状況の安定化を目指し、生息状況を把握、必要な対策を検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・生息状況・環境調査 ・ハンミョウ域外保全 等 	継続

○その他

番号	事業項目	事業内容	25年度	26年度
1	海岸ゴミ清掃	海鳥、ウミガメの繁殖地保全、景観美化を目的とした海岸漂着ゴミの清掃を行う	聳島、弟・兄・西・父島で実施	聳島、父島列島を中心に実施予定